



発行者  
**学校法人聖隷学園**  
 聖隷クリストファー大学・大学院  
 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校  
 聖隷クリストファー中・高等学校  
 聖隷クリストファー小学校  
 聖隷クリストファー大学附属  
 クリストファーこども園

〒433-8558  
 浜松市中央区三方原町3453  
 電話 053(436)5311  
<http://www.seirei.ac.jp>

聖句

「あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。」

フィリピの信徒への手紙 4章5節



理事長ご挨拶

～隣人愛の精神を大切に国際分野で活躍する人材育成を目指して～

学校法人聖隷学園 理事長 小柳 守弘



この度、2024年5月23日に開催された理事会におきまして、長谷川了前理事長の後任として、理事長職を拝命いたしました。微力ではありますが、キリスト教精神に基づいた隣人愛の精神を大切に、世の中が必要としていることを全力で考え、聖隷事業の発展のために専心努力してこの重責を果たす所存でございます。

本学園は「キリスト教精神に基づき、世界を視野に入れた保健、医療、福祉、保育、教育を担うことも園から専門職大学院（メディカルスクール）までの一貫したグローバル人材の養成」を掲げ、教職員一丸となって、選ばれる学校づくりに取り組んでおります。

少子化がますます進むなか、時代に合った人材、国際分野で活躍できる人材が育つことを目指しております。

すでに本年2月には、聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園および聖隷クリストファー小学校は静岡県西部初となる「国際バカロレア（IB）初等教育プロ



国際バカロレア (IB) ワールドスクール IB (PYP) World School

グラム（PYP）の認定を受けIBワールドスクールとなりました。今後2026年度には、新学校「聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高専部」を開校し、小学校から継続する12年間一貫のグローバル教育をより明確に行う計画です。

将来には、医師養成の専門職大学院（メディカルスクール）設置を構想しています。引き続き、保健・医療・福祉・教育機関を有するこの三方原地域において、新たな時代を支え、聖隷の精神を実践する人材の育成をしてまいります。



聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高専部 新校舎パース図

聖書のことは 聖隷学園 宗教部 総主任 大野 和男

世界恐慌の最中、貧しい老婦人が空腹の孫娘のためにパンを盗んだ罪で裁かれました。同情的な声もある中、N・Y・のラガーディア市長は、「法には例外があつてはいけない」として罰金刑を宣告しました。厳しい判決に騒めく中、彼は「しかし、この婦人が苦しんでいるその時に、助けることなく飲み食いしていた私にも、傍聴者にも責任があります。」と、自身には多額の、そして傍聴者にも少額の罰金を課しました。皆が払ったお金は老婦人に渡され、彼女はそこから罰金を払い、残りを受け取って帰りました。

「広い心」と訳される *εὐχελες* (エペイケイア) というギリシャ語は、翻訳が難しく、moderation「適切」、gentleness「温和」、reasonableness「合理的」など、様々な翻訳がなされてきました。本来は「正しいこと、そしてそれ以上によい何か」という意味を含む言葉だそうです。

正しいことを指摘し、罪が裁かれることは大切なことです。しかし、現代の社会やネットの中では、正しさだけを主張し、他人を裁く言葉が溢れてしまっています。その世界の中で、この *εὐχελες*、正しさとそれを超えた愛を世に表す者でありたいと願います。

TOPICS 中学校グローバルスクールコース

「聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高等部」について

学校設置計画承認

現在、聖隷クリストファー中・高等学校の中に設けられている「グローバルスクールコース」(GSC)を2026年度より、「聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高等部」という名称の新たな学校として独立させる計画が、2024年8月に静岡県私学審議会の審議を経て正式に承認されました。「英語イマージョン教育」と世界基準の探究型の学びを行う「国際バカロレア」(IB)を導入し、聖隷クリストファー小学校から継続する12年間の先進的なグローバル教育をより明確に実施する計画が、その実現に向けて着々と

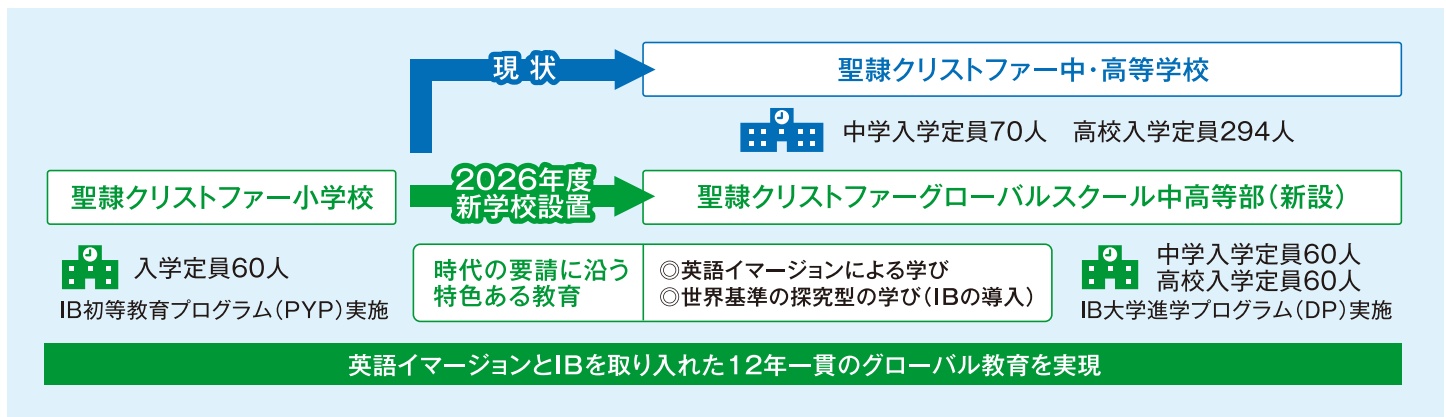
中学校グローバルスクールコース 副校長 中野 学也

進みつつあります。

設置を計画している「聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高等部」では、聖隷クリストファー小学校に引き続き、各教科を英語で学ぶ英語イマージョン教育を実施すると共に、小学校で導入している国際バカロレア初等教育プログラム(PYP)の学びを活かし、高校卒業後は海外大学・国内大学に進学することができるよう、国際バカロレア・ディプロマプログラム(DP)の導入を目指しています。

※新学校の設置計画は、今回の承認を経て、認可申請中(設置計画中)の段階となりました。設置計画は予定であり、内容に変更がある場合があります。

「聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高等部」学校設置計画の概要



新校舎の建築とGSCの近況について

上記「聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高等部」の使用を想定している新校舎の建築工事が始まりました。3階建て(一部2階建て)の新校舎は、現在の中高校舎の東側、旧ソフトボール場の敷地に建設される予定です。6月21日に起工式が執り行われて以降、敷地の造成工事が進んでいます。今回の工事では、新校舎の建築以外にも、スクールバスと送迎車両のロータリースペースの設置や、現中高の生徒も利用できる駐輪場の設置、小学生のプレイグラウンドの設置等も含まれています。工事期間におきましては、皆様に様々なご不便をお掛けしております。皆様のご理解と日頃のご支援、ご協力に感謝申し上げます。新校舎の完成は2026年3月の予定です。

今年度、グローバルスクールコース(GSC)は中学の3学年が揃い、4月からStudent Council(生徒会)の組織づくりに向けた活動を行っています。7月の夏休み初日には、Leadership Workshop(リーダー研修)を行い、16名の有志の生徒がStudent Councilを組織するためのリーダーシップについて学びを深めました。

9月には、G8(中学2年生)がニュージーランド研修旅行に行きました。生徒はホームステイをしながら、現地校(Greenpark School)の授業に約2週間参加しました。ニュージーランドの大自然やホストファミリーとの時間を満喫しながら、普段グローバルスクールコースで身に付けている英語で学ぶ力を存分に発揮し、楽しく、実りある研修をしてきました。



Leadership Workshopに取り組みGSCの生徒達



現地校(ニュージーランド)生徒とのランチタイム



## TOPICS

## 聖隷クリストファー小学校

## 第2回オーストラリア研修について

8月31日から9月15日まで聖隷クリストファー小学校 (SCES) 6年生がオーストラリア・インマヌエルカレッジにて研修を行いました。異国の地で新たな事柄にチャレンジする時となりました。国際的な視野を広げ、一人ひとりのエージェンシー (主体性) の基盤を築くという大きな目標があります。ホームステイ先での日常生活や現地校での授業参加を通して、自立心を養い、多様な文化への理解を深め、英語コミュニケーションスキルを向上させるとともに、困難を乗り越えて自信をつけ、自分自身の新たな

聖隷クリストファー小学校 校長補佐 モーテン J・ヴァテン

目標を見つけることができました。子どもたちは英語を駆使して積極的に活動し交流ができました。各クラスで日本の文化等を紹介したり、全校集会700人の前で英語と日本語で「Sunshine in My Soul」(校歌)と「When The World Becomes One」を歌い喝采を得ました。



お寿司の作り方について紹介

## 劇団四季ミュージカル『キャッツ』の観劇

9月13日に4年生が、静岡市で上演された劇団四季のミュージカル『キャッツ』の観劇に出かけました。キャストの本格的な演技に触れることで、表現することの素晴らしさに気づく貴重な機会となりました。劇中では、猫になりきったキャストの演技と衣



聖隷クリストファー小学校 教諭 有間 勇人

装、猫の視点で作られた巨大なゴミのオブジェが舞台を彩り、子ども達は『キャッツ』の世界に引き込まれていきました。歌やダンスの場面では、自然に手拍子が巻き起こりました。終幕後にはスタンディングオベーションが湧き起こり、子ども達もキャストと一体となって歓喜の瞬間を共有しました。

本校では毎年12月、クリスマス礼拝が行われます。この礼拝では、降誕劇が演じられ、子ども達はその意味を深く理解し、観客に伝えます。今回の観劇体験を通じて、降誕劇においても感謝の気持ちを込めて、キリスト誕生の喜びを心から表現してくれるでしょう。

## TOPICS

## 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

## How do we foster and deepen student Seirei Christopher Kodomoen Teacher : Jesse Reitzin



During circle time discussions in Lamb class, we try and keep conversations causal as teachers candidly share their own theories and experiences with the students. This practice exemplifies the curiosity and confidence we want to see amongst the learners. A quick reflection of a story picture-book through a conceptual lens can turn into a rich discussion.

When conversations connect with students' everyday experiences, we see them taking ownership. After a story about bears and honey last week, the teachers sitting around the circle started with an anecdote like "Hey that reminds me. I had honey on my toast this morning!"

Statements like these invite students to share their own experiences without the teacher needing to ask any specific questions. Initial statements may cascade into discussions about other things we can have on toast, the consistency of honey, the size of bears and their furry coats or other animals and their properties, especially when we are thinking about *form*. We

are in the realm of *Perspective* too when comparing and acknowledging differences and similarities between students' anecdotes.

An incidental approach allows more students to contribute something to the discussion comfortably. Taking turns as the speaker also happens naturally when there is a guided but free-flowing exchange, and students are naturally motivated to share their anecdotes.

The most satisfying and enjoyable thing about practices like these, is knowing that through intentional but casual exchanges, students are acquiring new language patterns and ways of thinking. They are not merely answering questions. Rather, they are being subtly guided to think conceptually.



日本語訳

TOPICS 聖隷クリストファー大学・大学院

心理に強いソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の育成  
〜福祉心理コースで精神保健福祉士と公認心理師を学ぶ強み〜

聖隷クリストファー大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 大場 義貴

わが国の精神科受診者は、600万人を越え、精神疾患の生涯有病率は、22.9%と報告されています。2011年に国は、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病に精神疾患を加え5大疾患(医療計画の対象)と位置づけました。

統合失調症やうつ病等の精神疾患に加え、ひきこもり(80代の親と50代のひきこもりの子ども)の心理・社会的課題が複合化した80・50問題)や発達障害の2次障害、虐待被害等による社会的養護等の増加。更にコロナ感染の拡大や大規模自然災害等によりメンタルヘルス不調を訴える人は増加しています。

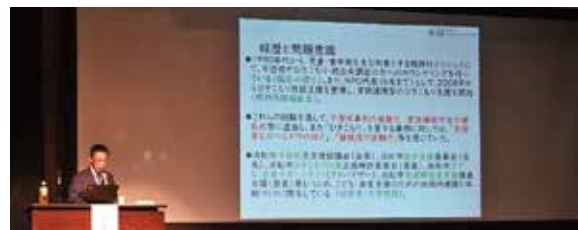


これらに対応する精神保健福

祉士には、

心理的側面からの理解やアプローチでできる力量が求められるため、2023年

度に社会福祉学科では「心理に強いソーシャルワーカー(精神保健



ひきこもりに関する大場先生の講演会の様子

福祉士)」を育成する「福祉心理コース」を開設しました。精神保健福祉士養成課程と公認心理師対応カリキュラム\*を学び、卒業後、まず精神保健福祉士として、精神科や発達障害児者支援領域等で働きながら、要援護者や家族への心理的理解の幅を広げ、その後、本格的に公認心理師を目指す、大学院進学を目指すことが可能です。大学院修士課程での、公認心理師養成課程は、2026年度開設を予定しています。

\*公認心理師対応カリキュラムは、国際教育学部こども教育学科でも開講しています。

教員による教育番組の開発

聖隷クリストファー大学 国際教育学部 学部長 太田 雅子

クッキーモンスター等のキャラクターが登場する教育番組『セサミストリート』をご存じだと思います。それにも負けず劣らない教育番組(ショー)が聖隷学園にもあります。『FRANKIE&BOO』(フランキー&ブー)と言



います。番組制作・ディレクター兼キャラクターを演じているのは、大学・国際教育学部のモーテン・ヴァテン先生。そしてこども園のジェシー・ライツイン先生です。

教育とエンターテイメントの要素を併せ持つ良質なコンテンツの開発を行っています。目的やメッセージの設定、内容(筋書・キャラクターの動き・音楽)まで自分たちで作っています。

『FRANKIE&BOO』によって、聖隷クリストファー小学校6年生の海外研修・事前学習がなされました。オーストラリアの文化やマナー、

ATLスキル(学習のアプローチ)について児童は理解を深めました。聖灯祭では、『Global Man's Search for Global Land』のテーマで2回の公演が開催されました。今回ナレーターとしてドナルド・パターンソン先生が加わりました。探し求めているGlobal Land(GL)、それは「束縛するものはない、学ぶ自由がある、成長する自由がある」「転んだ時には友達や皆が助けてくれる」そして国際バカロレア(IB)の学習像が展開されるところーGlobal Landはここ聖隷クリ

ストファー大学にあるというメッセージが伝えられました。キャラクターの演技、歌や音楽はプロ級で大変魅了されました。



GLソングはこちらから



聖灯祭での公演の様子





# 聖隷クリストファー中・高等学校

## 今年も健在! 聖隷クリストファー旋風!!

第106回全国高等学校野球選手権静岡大会  
ノーシードから勝ち上がり準優勝



### 野 球 部

秋季県大会3位  
(3年ぶり東海大会出場)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1回戦…聖隷 5-2 島田商業  | 準々決勝…聖隷 4-2 知徳 |
| 2回戦…聖隷 8-1 川根    | 準決勝…聖隷 3-2 静岡  |
| 3回戦…聖隷15-5 焼津水産  | 決 勝…聖隷 2-7 掛川西 |
| 4回戦…聖隷 5-4 常葉大菊川 |                |

高等学校総合体育大会 10年ぶりベスト4進出



### 男子サッカー部

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| [西部地区予選]        | [県大会決勝トーナメント]       |
| 2回戦…聖隷 3-1 浜松商業 | 2回戦…聖隷 5-1 暁秀       |
| 3回戦…聖隷 2-0 浜松工業 | 3回戦…聖隷 1-0 浜名       |
| 準決勝…聖隷 2-0 袋井   | 準々決勝…聖隷 3-0 富士東     |
| 決 勝…聖隷 0-4 磐田東  | 準決勝…聖隷2-2(PK8-9)藤枝東 |

高等学校総合体育大会県大会 準優勝



### 女子ソフトボール部

全国私学選手権 初出場(東海地区代表)



### 女子バレーボール部

全国高等学校選抜大会 男女とも全国大会出場



### 少林寺拳法部

全国高等学校総合文化祭 出場  
(清流の国ぎふ総文2024)



### 放送部

### 将棋部

高校総体 県大会3位(東海大会出場)



### 男子バレーボール部

第46回全国高等学校  
小倉百人一首競技かるた選手権大会 出場



### かるた部

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| [県大会]             | [東海大会]            |
| 2回戦…聖隷 2-0 浜松商業   | 1回戦…聖隷 0-2 星城(愛知) |
| 準々決勝…聖隷 2-0 沼津城北  |                   |
| 準決勝…聖隷 0-2 静岡     |                   |
| 3位決定戦…聖隷 2-1 浜松日体 |                   |

最新部活 INFORMATIONは公式SNSでも更新中!

Instagram

Facebook



TOPICS 聖隷クリストファー中・高等学校

2024年度入試結果と  
本校の進路指導

聖隷クリストファー高等学校  
進路指導部長 野間 賢二

2024年度入試において、国立・公立大学に22名(過年度生1名を含む)が合格することができました。静岡県内の5国立大学(浜松医科大学、静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、静岡県立農林環境専門職大学)には計13名が合格しています。私立大学では、聖隷クリストファー大学の91名をはじめ、難関私立大学(早稲田・上智・国際基督教・法政・関西・関西学院・立命館)に計22名(過年度生2名を含む)合格、大学合格者の総数は延べ489名に上りました。

本校では進学、就職希望に関わらず、すべての高校3年生を対象とした「個別指導」(教員による面接・小論文・教科指導)、聖隷グループに属する本校ならではの取り組み「聖隷プロジェクト」(聖隷クリストファー大学の先生方による講義等)、小論文を書くことを山登り(クライミング)に例えた「小論文クライミング」(小論文指導)を柱に据えて進路指導を進めています。様々な人との関わりや体験を通して、学習意欲を高め主体的に学ぶことができるよう今後も指導してまいります。

本校卒業生 鈴木孝幸君、  
6度目のパラリンピック

聖隷クリストファー中・高等学校  
教頭 敷浪 いづみ

新聞社からのお声掛けで、孝幸君を知っている先生方に彼の高校時代の思い出を語ってもらった記事が静岡新聞と中日新聞に掲載されました。彼の活躍のたびに本校の名前が流れ、ありがたいことです。今回のパラリンピックでは出場した4つの個人種目すべてにおいてメダルを取る大活躍で、「レジェンド」と呼ばれました。16年前(大学時代の北京パラ)の記録を更新する自己最高タイムや、ベテランならではの巧みなレース運びが報じられました。彼がいかに厳しく自分と向き合い精進し、37歳の今も競技者として進化し続けている結果に、敬意の念を表します。

障がいのあるなしにかかわらず、誰もが共に仲良く平等に生きられることを、身をもって教えてくれた高校時代の3年間。彼が本校に残してくれた最も大切な財産はそれであり、本校の「レジェンド」です。  
孝幸君、また母校に来て、後輩たちに姿を見せ、話を聞かせてくださいね。



「孝幸先輩活躍」の  
新聞記事に見入る後輩たち

TOPICS 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

外国人留学生の受け入れについて

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 校長 野田 由佳里

本校では2017年度開校2年目より、外国人留学生の受け入れを開始しており、卒業生は13名、現在は学生10名が在籍しています。受け入れ国も多様になっており、現在はミャンマー、インドネシア、ネパール、中国籍の学生が在籍しています。

外国籍の卒業生達は、日本人学生の規範となるような真面目な取り組みが見られました。また現在では、仕事場での頑張りや、働きぶりを耳にすることが多くなりました。本年2月から、就職後のフォローを目的とした卒業後支援も行っています。

外国人留学生の多くが近隣の社会福祉法人の支援を受け、学費や、生活費の援助を受けています。母国から離れ、日本での暮らしを継続できているのは、関係法人の皆様のお力添えや、本校教職員の献身的な働きがあるからです。これらが学園理念、隣人愛のもと、教職員の矜持、使命感によるものと思われ、改めて感謝の気持ちで一杯です。

更に教育活動においては、例年の活動に加えて、今年度からは学生支援として、グローバル教育センター職員による日本語支援、専門学校教員と日本人学生による文化交流会、スポーツ大会などの企画も実施しています。また高齢者施設理解を兼ねたボランティア企画にも全員が参加しています。今後も変わらぬご指導とご助言を賜りますようお願い申し上げます。



高齢者施設で活躍する本校外国人卒業生

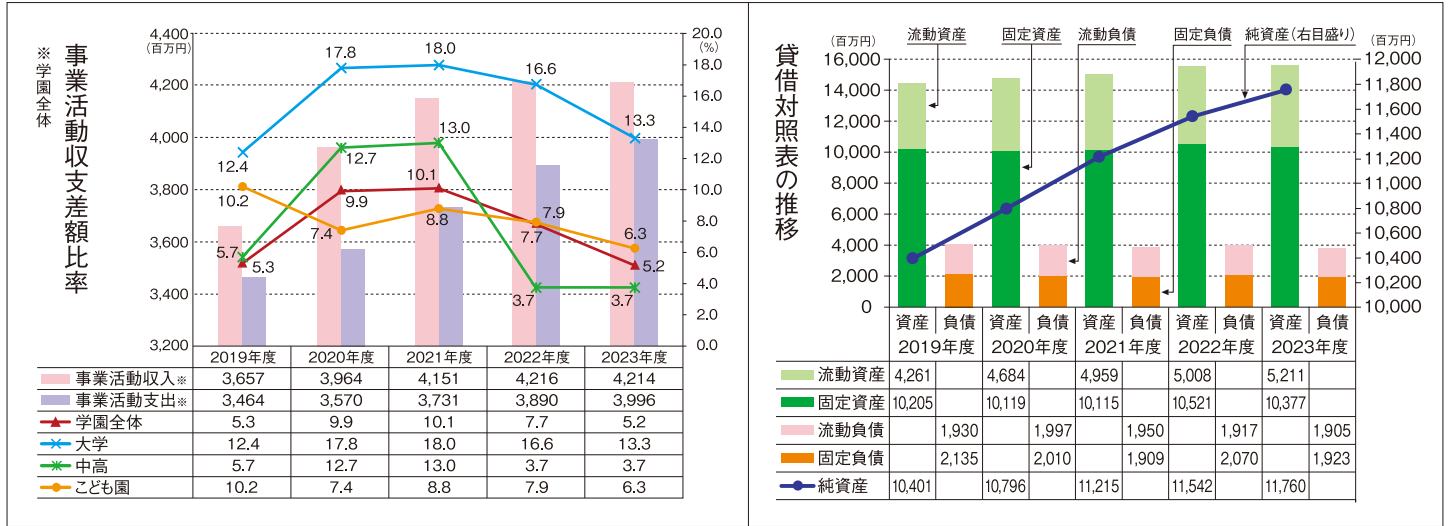


# 2023年度決算における財務状況および2024年度予算の概要

## ◆2023年度決算について

1. 学生・生徒・児童・園児数は高等学校入学者増、小学校学年進行に伴い、前年度から31名増加し、学園全体で3,210名となりました。定員充足率は学園全体で98.7%(対前年度同様)となりました。
2. 学校法人の事業は中長期経営計画に基づいて推進しており、2023年度の財務状況は学園全体の収支(事業活動収支差額)がプラス5.2%(2億1794万円)と計画を上回って改善しております。(大学法人の全国平均値は4.6%です。)
 

※事業活動収支差額は損益計算書の当期利益にあたります。
3. 2023年度末の総資産155億8843万円に対し、有利子負債は15億3803万円となりました。純資産額についても2億1794万円増となりました。



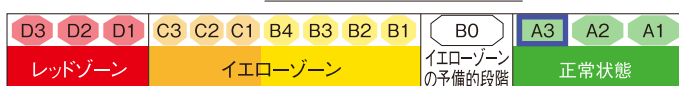
## 各学校の状況

2023年度は、聖隷クリストファーグローバルスクール中高等部(仮称)新校舎建築(2024年6月着工)準備費用として、設計管理料や行政への申請費用3,147万円、その他、大学、中高エアコン取替工事など教育保育環境充実を行いました。

1. 大学の収支は安定した状況を継続しております。毎年計画的に行っております教室等のエアコン取替工事1,750万円、LED照明交換工事927万円、トイレ改修工事1,017万円など行いました。この他、学生満足度調査からの要望を受け、PCを利用しながら授業を受けやすくなるよう従来型の机から幅広い机に入替をしました。次年度以降も学修環境整備を計画的に行っていきます。
2. 専門学校は、介護福祉士国家試験合格率100%(2年連続)となりました。
3. 中・高等学校は、毎日の礼拝で使用しているクリストファーホールの観覧席の修理3,130万円、エアコン室外機取替工事2,662万円など教育環境の改善を図りました。
4. 小学校は、学年進行に伴い児童数も増加し235名となりました。今後もPYP認定校として、さらに探求の学び・英語イマージョン教育の充実を図ってまいります。
5. こども園は、園児の安全を第一優先とし、教育保育活動を行っております。園を取り巻く環境に注視し、選ばれる園となるよう、教育保育充実を図ってまいります。

## ◆経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、学校法人の経営状態を指標により14区分に分類しています。2023年度決算についてこの指標による判定の結果、本学園は上位から3番目のA3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。



## 2024年度事業計画および予算の執行状況 (2024.11現在)

2024年度の主な事業計画は下記のとおりです。予算は中長期財務計画をひとつの指標とし、事業計画に沿った予算申請、査定を経て編成しております。

### 《法人》

- 1) 聖隷クリストファーグローバルスクール中高等部(仮称)設置準備
- 《大学》
- 2) 入学者目標数の達成(全学)
- 3) 新カリキュラム推進、教育環境の整備と充実(看護学部)
- 4) 公認心理師養成課程の安定的な運営及び完成年度に向けて準備(社会福祉学部)
- 5) 国際リハビリテーションコースの評価及び国際保健医療福祉プログラムの着実な発展(リハビリテーション学部)
- 6) 3つの系(教育・保育・心理)の特長、将来像の明確化(国際教育学部)

### 《中・高等学校》

- 7) 教職員の資質向上および業務の効率化と多忙化の解消(教員研修等)
- 8) 教育環境の充実(体育館エアコン設置他)
- 《中学校グローバルスクールコース》
- 9) 新学校設立に向けての準備
- 《小学校》

- 10) 建学の精神、教育理念に基づいた学校運営、教育活動の実施
- 11) 国際バカロレア初等教育プログラム認定校(IB PYP)1年目(こども園と連携)探求的な学び・英語イマージョン教育の充実、推進、実践、周知

### 《こども園》

- 12) PYP認定校1年目 特色ある教育・保育活動の実施

2024年度予算における学園の事業活動収支状況は、法人全体の収入が40億7136万円、支出が41億6983万円、収支差額は▲9847万円(事業活動収支差額▲2.4%)となっております。今年度もさらに各学校の特色ある教育保育を充実させ、選ばれる学校になるよう努力してまいります。また、新校舎建築について、2024年6月から着工しております。児童生徒等の安全を第一に、保護者様や地域の皆様にご理解ご協力いただきながら、2026年3月完成を目指してまいります。

# 「ブレス浜松」ホームゲームへの聖隷福祉事業団と聖隷学園の共同サポートについて

## VOLLEYBALL

「ブレス浜松」は浜松市に拠点を置く女子プロバレーボールクラブです。聖隷福祉事業団がオフィシャルパートナーとして支援されています。今回、聖隷学園は11/23(土・祝)・11/24(日)のリーグ戦2試合の冠パートナーとして共同サポートさせていただきました。両方の理事長による始球式、聖隷福祉事業団と本学学生によるコラボ企画ブース、小学校児童による選手入場のエスコート、高校男女バレー部員たちの観戦など、聖隷福祉事業団と聖隷学園が一丸となって応援しました。ブレス浜松は見事に2連勝し、Vリーグ開幕6連勝を飾りました。



聖隷福祉事業団 青木理事長と  
本学園 小柳理事長



事業団と本学看護学部学生による  
コラボ企画ブース



大学言語聴覚学科学生による  
企画ブース



聖隷学園各学校パンフレットブース



エスコートキッズを務めた聖隷クリストファー小学校児童たち



熱い声援を送った聖隷クリストファー高校男女バレー部



勝利したブレス浜松には賞品としてお米60kgが贈られました

今回のサポートに参加させていただいた児童、生徒、学生たちはプロの迫力あるプレーを間近で体感し、かけがえのない貴重な体験を得られました。関係者の皆様にあらためて感謝申し上げます。「Sports for Social」のHPには、ブレス浜松を支援する背景や、地域との連携による成果について、青木理事長と小柳理事長お二人の強い思いが語られていますので、右記QRコードよりぜひご覧ください。引き続き、ブレス浜松の活躍にご声援、ご注目をお願いいたします。

